

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開2001-286324

(P2001-286324A)

(43)公開日 平成13年10月16日(2001.10.16)

(51)Int.Cl.

識別記号

F I

テ-マ-ト(参考)

A 4 5 C 13/30

A 4 5 C 13/30

H 3 E 0 6 2

B 6 5 D 23/00

B 6 5 D 23/00

P

審査請求 有 請求項の数3 OL (全 4 頁)

(21)出願番号 特願2000-103617(P2000-103617)

(22)出願日 平成12年4月5日(2000.4.5)

(71)出願人 000114606

モリト株式会社

大阪府大阪市中央区南本町4丁目2番4号

(72)発明者 奥村 敬一

東京都台東区駒形2丁目4番8号 モリト

株式会社東京支社内

(74)代理人 100067323

弁理士 西村 教光 (外1名)

Fターム(参考) 3E062 AA09 AB02 AC02 GA10 GB06

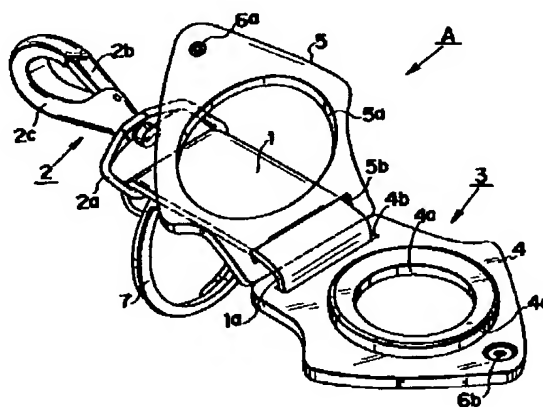
GB09 GC02 GC05

(54)【発明の名称】 携帯用ボトルホルダー

(57)【要約】

【課題】 ペットボトルに対して簡単かつ確実に装着でき、しかも、ズボンのベルト掛けなどに吊持して、あるいは下り下げ紐若しくはベルト等を用いて肩から下げて携帯できるようにした携帯用ボトルホルダーを提供する。

【解決手段】 ホルダー本体3を、互いに開閉自在に重合する二重の環体により構成し、すなわち、ボトルBのネックNに弾性的に嵌合する嵌合孔4aを有する弾性環4と、前記嵌合孔4aに対応して、ボトルBのネックNに遊嵌する大径の遊嵌孔5aを有する剛性環5とからなり、両環の一端は開閉自在に結合されており、両環の他側端には、両環を重ねた状態で係脱操作自在に結合する結合手段6を装備している。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 ボトルを携帯保持するための携帯用ボトルホルダーにおいて、ホルダー本体が、前記ボトルのネックに弾性的に嵌合する嵌合孔を有する弾性環と、前記嵌合孔に対応して、前記ボトルのネックに遊嵌する大径の遊合孔を有する剛性環とからなり、両環の一端は開閉自在に結合されており、両環の他側端には、両環を重ねた状態で係脱操作自在に結合する結合手段を装備していることを特徴とする携帯用ボトルホルダー。

【請求項2】 前記弾性環には、前記嵌合孔周縁に環状縁部が形成してあって、前記剛性環を前記弾性環に重ねた際に、前記遊合孔の内周に嵌合することを特徴とする請求項1に記載の携帯用ボトルホルダー。

【請求項3】 前記結合手段は、互いに係脱する雄雌ホック材で構成されていることを特徴とする請求項1又は2に記載の携帯用ボトルホルダー。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、主として、飲料水、コーヒー、ジュースなどの飲料用ペットボトルなどを携帯する際に使用する携帯用ボトルホルダーに関するものである。

【0002】

【従来の技術】従来、ハイキングなどには、飲料を携帯するために、専用の携帯ボトル（水筒や携帯魔法瓶など）を用意したが、最近では、ペットボトルに充填した飲料が広く市販されているので、これを携帯し、飲用に供する場合が多い。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、上述のペットボトルは、専用の携帯ボトルと異なり、肩掛け用紐などの携帯具が装備されていないので、バックに入れて持ち運ぶなどの工夫が必要であった。

【0004】本発明は、上記事情に基づいてなされたもので、ペットボトルに対して簡単確実に装着でき、しかも、スポンのベルト掛けなどに吊持して、あるいはつり下げ紐若しくはベルト等を用いて肩から下げて携帯できるようにした携帯用ボトルホルダーを提供しようとするものである。

【0005】

【課題を解決するための手段】このため、本発明の携帯用ボトルホルダーでは、図示の実施例でも明らかにしたように、ホルダー本体3が、互いに開閉自在に重合する二重の環体よりなり、すなわち、ボトルBのネックNに弾性的に嵌合する嵌合孔4aを有する弾性環4と、前記嵌合孔4aに対応して、ボトルBのネックNに遊嵌する大径の遊合孔5aを有する剛性環5とからなり、両環の一端は開閉自在に結合されており、両環の他側端には、両環を重ねた状態で係脱操作自在に結合する結合手段6を装備していることを特徴としている。

【0006】さらに詳細には、本発明の携帯用ボトルホルダーは、ボトルBを携帯保持するための紐体1と、紐体1の一端に設けた係止具2と、紐体1の他端に設けたホルダー本体3とを具備する携帯用ボトルホルダーAにおいて、ホルダー本体3は、ボトルBのネックNに弾性的に嵌合する嵌合孔4aを有する弾性環4と、嵌合孔4aに対応して、ボトルBのネックNに遊嵌する大径の遊合孔5aを有する剛性環5とからなり、両環の一端端には、それぞれ、紐体1の他端を挿通する挿通孔4bおよび5bを形成し、その他側端には、両環を重ねた状態で結合する結合手段6を装備しており、紐体1の他端には、挿通孔4bおよび5bを介して、弾性環4および剛性環5を吊持するループ部1aを構成している。

【0007】上記ホルダー本体3の挿通孔4bおよび5bに、長尺の紐体あるいはベルトを結合して、肩から掛けるようにしてボトルBを携帯保持することもできる。

【0008】この場合、本発明の実施の形態として、弾性環4には、嵌合孔4a周縁に環状縁部4cが形成してあって、剛性環5を弾性環4に重ねた際に、遊合孔5aの内周に嵌合することが有効である。また、結合手段6が、雄雌ホック部材で構成されていることが、それぞれ有効である。

【0009】このような構成では、ペットボトルなど、市販の飲料用ボトルを携帯する際には、弾性環4が自由に弾性変形する状態で、弾性環4をネックNに嵌合した上で、剛性環5を弾性環4に重ねて、弾性環4の弾性変形を抑えるので、ホルダー本体3をボトルBに対して簡単に装着でき、しかも、携帯に際して、みだりに外れることがないのである。

【0010】

【発明の実施の形態】本発明の携帯用ボトルホルダーの実施の形態を、図面を参照して、以下に具体的に説明する。即ち、このボトルホルダーAは、基本的には、ボトルBを携帯保持するための、例えば、ベルト状の紐体1と、紐体1の一端に設けた係止具2と、紐体1の他端に設けたホルダー本体3とを具備する。ホルダー本体3は、ボトルBのネックNに弾性的に嵌合する嵌合孔4aを有する扁平な弾性環4（例えば、加硫ゴム成形体からなる部材）と、嵌合孔4aに対応して、ボトルBのネックNに遊嵌する大径の遊合孔5aを有する扁平な剛性環5とからなる。剛性環5は、金属あるいは硬質プラスチックの板体により形成されている。

【0011】そして、両環の一端端には、それぞれ、紐体1の他端を挿通する、例えば、スリット状の挿通孔4bおよび5bを形成し、その他側端には、両環を重ねた状態で結合する結合手段6を装備しており、紐体1の他端には、挿通孔4bおよび5bを介して迂回し、縫着することで、弾性環4および剛性環5を吊持するループ部1aを構成している。

【0012】特に、この実施の形態では、弾性環4に

3

は、嵌合孔4a周縁に環状縁部4cが形成してあって、剛性環5を弾性環4に重ねた際に、遊合孔5a内周に嵌合するようになっている。なお、遊合孔5aの径は、好ましくは、ボトルBのキャップが通る大きさが取り扱いに便利であり、これに対応して、環状縁部4cの外径が設定されると良い。また、この実施の形態では、結合手段6が、互いに係脱する雄雌ホック6a、6b材で構成されている。

【0013】このような構成では、ペットボトルなど、市販の飲料用ボトルを携帯する際には、まず、ボトルBのキャップを外すか、可能なら、そのまま、弾性環4の弾性を利用して、嵌合孔4aを拡張しながら、ネックNに嵌合させる。そして、更に、ネックNに対して遊合孔5aを遊合させながら、剛性環5を弾性環4に重ねて、結合手段6で両環を結合し、ボトルBの負荷による弾性環4の撓みを抑止する。即ち、弾性環4が自由に弾性変形する状態で、弾性環4をネックNに嵌合した上で、剛性環5を弾性環4に重ねて、弾性環4の弾性変形を抑えるので、ホルダー本体3をボトルBに対して簡単に装着でき、しかも、携帯に際して、みだりに外れることがないという効果が得られる。

【0014】特に、この実施の形態では、遊合孔5aに環状縁部4cが嵌合することで、嵌合孔4aの弾性変形（径方向への拡張変形）が大幅に抑制されるので、ホルダー本体3へのボトルBの保持が確実に維持される。

【0015】なお、この実施の形態では、紐体1は、その一端に係止具2の環状の連結部2aに挿通され、そこで折り返され、縫着されて、ループ部を構成している。また、係止具2は、抜け止め爪2bを有するフック2cを備えた、周知の構造のものを採用している。また、要すれば、紐体1の前記ループ部には、螺旋状の割り環7が別に装着されていて、キーなどが吊持できるようになっている。

【0016】

【発明の効果】本発明は、以上詳述したようになりベッ

4

トボトルなど、市販の飲料用ボトルを携帯する際には、弾性環4が自由に弾性変形する状態で、弾性環4をネックNに嵌合した上で、剛性環5を弾性環4に重ねて、弾性環4の弾性変形を抑えるので、ホルダー本体3をボトルBに対して簡単に装着でき、しかも、携帯に際して、みだりに外れることがないという効果が得られる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の実施の形態を示す斜視図である。

【図2】同じく、剛性環を重ねた状態の斜視図である。

【図3】同じく、ボトルを取り付けた状態の斜視図である。

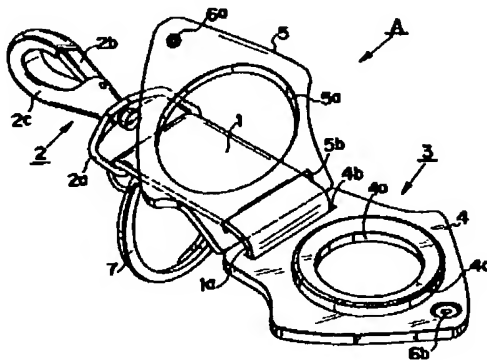
【図4】同じく、要部の断面図である。

【図5】同じく、携帯状態を示す斜視図である。

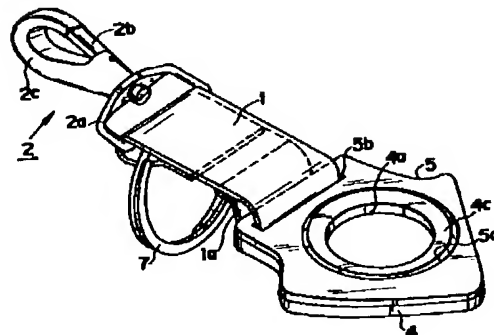
【符号の説明】

- A ボトルホルダー
- B ボトル
- N ネック
- 1 紐体
- 1a ループ部
- 2 係止具
- 2a 連結部
- 2b 抜け止め爪
- 2c フック
- 3 ホルダー本体
- 4 弾性環
- 4a 嵌合孔
- 4b 挿通孔
- 4c 環状縁部
- 5 剛性環
- 5a 遊合孔
- 5b 挿通孔
- 6 結合手段
- 6a 雄ホック
- 6b 雌ホック
- 7 環

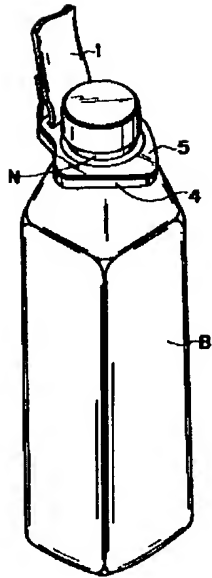
【図1】



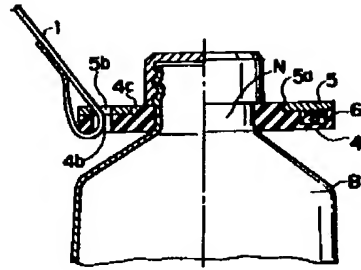
【図2】



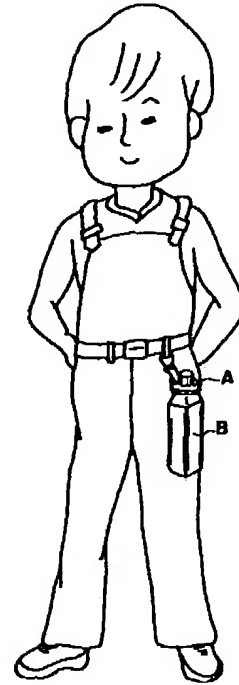
【図3】



【図4】



【図5】



DERWENT- 2002-045313

ACC-NO:

DERWENT- 200239

WEEK:

COPYRIGHT 1999 DERWENT INFORMATION LTD

TITLE: Portable bottle holder for polyethylene terephthalate bottles, has overlapping elastic and rigid rings and is equipped with one openable end, and the other end is connected by a connection hook

PATENT-ASSIGNEE: MORITO CO LTD[MORIN]

PRIORITY-DATA: 2000JP-0103617 (April 5, 2000)

PATENT-FAMILY:

PUB-NO	PUB-DATE	LANGUAGE	PAGES	MAIN-IPC
JP 2001286324	A October 16, 2001	N/A	004	A45C 013/30

APPLICATION-DATA:

PUB-NO	APPL-DESCRIPTOR	APPL-NO	APPL-DATE
JP2001286324A	N/A	2000JP-0103617	April 5, 2000

INT-CL (IPC): A45C013/30, B65D023/00

ABSTRACTED-PUB-NO: JP2001286324A

BASIC-ABSTRACT:

NOVELTY - A portable bottle holder (A) has a main unit (3) having an elastic ring (4) with a fitting hole (4a) elastically fitted to the neck of a bottle. A rigid ring (5) having a flexible fixing hole (5a) loosely fitted to the bottle neck is arranged so it overlaps with the elastic ring. Both rings have one end connected openably and the other end connected by a connection hook.

USE - For polyethylene terephthalate bottles for storing beverages such as drinking water and coffee.

ADVANTAGE - Enables simple and reliable mounting of the PET bottle on the holder, by suppressing the elastic deformation of the elastic ring by piling the rigid ring on the elastic ring.

DESCRIPTION OF DRAWING(S) - The figure shows a perspective view of the portable bottle holder.

Main unit 3

Elastic ring 4

Fitting hole 4a

Rigid ring 5

Fixing hole 5a

Bottle holder A

CHOSEN- Dwg.1/5
DRAWING:

TITLE- PORTABLE BOTTLE HOLD POLYETHYLENE TEREPHTHALATE BOTTLE OVERLAP ELASTIC
TERMS: RIGID RING EQUIP ONE OPEN END END CONNECT CONNECT HOOK

DERWENT-CLASS: A92 P24 Q32

CPI-CODES: A05-E04E; A12-P; A12-P06A;

ENHANCED-POLYMER- Polymer Index [1.1] 018 ; P0884 P1978 P0839 H0293 F41 D01 D11
INDEXING: D10 D19 D18 D31 D50 D63 D90 E21 E00

Polymer Index [1.2] 018 ; ND01 ; K9416 ; Q9999 Q8571 Q8366 ;
Q9999 Q8435 Q8399 Q8366

SECONDARY-ACC-NO:

CPI Secondary Accession Numbers: C2002-013036

Non-CPI Secondary Accession Numbers: N2002-033827